

令和2年度 部活動ガイドライン 部活動評価							
番号	部名	目標	昨年度の状況	今年度の検証方法	本年度の大会結果(主なものを記入)	各部活動の評価	達成率% 76%
1	男子バレーボール	○地区予選を勝ち抜き、県大会で上位に入ること ○協働できるチーム(個人)としての成長	新人戦予選5位、県大会ベスト16	生徒の技能向上とチームワークの状況 土曜朝清掃、委員会活動への自主的な参加	○中部選手権大会6位 ○全日本バレー静岡県予選大会出場 ○新人戦中部大会(これから)	○中部選手権大会では6位となりベスト8には入ることができた。これは県大会はない大会である。 ○土曜朝清掃にはもっと積極的に参加できると良かった。行事における体育館の椅子並べ等は参加できた。	80 %
2	女子バレーボール	○「流れを大切にしたい繋ぐバレー」を目標に協調性や忍耐力を養い、県大会出場を目指す。 ○学校のリーダーとして活躍する人材の育成。	地区大会2回戦出場 土曜朝清掃への参加	生徒の技術向上とチームワークの状況 土曜朝清掃、委員会活動への自主的な参加	○中部選手権大会出場 ○全日本バレー静岡県予選大会出場 ○新人戦中部大会出場(3月)	○地区大会では1回戦で強豪校と対戦することが多く、勝利することができなかった。 ○コロナ禍で公式試合が激減し、モチベーションを維持することが困難であったが、その中で固々やチームの技術向上を目標に掲げて日々の練習に取り組んだ。 ○土曜朝清掃など学校行事にも積極的に参加した。	80 %
3	男子バスケットボール	○総体、選手権、新人大会の県大会でベスト8進出を目指す ○協働できるチーム、個人としての成長 ○リーダーとしての資質向上 ○礼儀正しい生徒の育成	総体予選5位、県大会ベスト32 県選手権大会ベスト32 新人戦大会3位、県大会ベスト32 チーム・個人ともに、部活内外において成長を感じられた。	総体等の成績 生徒の技能向上とチームワークの状況など 生徒の状況	○高校総体中止 ○県選手権大会2回戦進出 ○新人大会中部地区予選4位 ○新人大会県大会ベスト16	○新人大会では中部4位、県大会はベスト16と、目標には一歩届かなかった。 ○コロナ禍の下、高校総体・県リーグ戦が中止となり年間公式試合は半減したが、限られた時間と制約の中、チーム・個人ともに集中して練習に取り組み、精神的にも大きな成長が見られた。	80 %
4	女子バスケットボール	○総体、選手権、新人戦の県大会でベスト8進出を目指す ○協働できるチーム、個人としての成長 ○リーダーとしての資質向上 ○礼儀正しい生徒の育成	総体予選7位、県大会ベスト16 県選手権3回戦進出 新人戦予選7位、県大会ベスト16 チーム・個人ともに、部活内外において成長を感じられた。	総体等の成績 生徒の技能向上とチームワークの状況など 学年やHR担任など周囲からの聞き取り	○高校総体中止 ○県選手権大会ベスト16 ○新人大会中部地区予選5位 ○新人大会県大会出場	○県選手権・新人戦ともに昨年度より良い成績を取ることができた。 ○週に一度、自分たちで課題を見つけ、自主的に練習を計画実施する日を設け活動することができた。 ○挨拶やHR内での振る舞いなど、成長を感じられた。	80 %
5	男子テニス	○総体、新人戦県大会団体ベスト16入賞 ○新人戦個人の部県大会出場 ○技能向上と精神面での成長	総体、新人戦県団体ベスト16 新人戦個人の部県大会出場	各種大会での成績 チームの状況	新人戦県団体ベスト16 新人戦ダブルス2ペア、シングルス2人出場	○年度当初の目標は達成できた。 ○個人個人が主体性を持って活動できた。	100 %
6	女子テニス	○総体、新人戦県大会ベスト8入賞 ○技能向上と精神面での成長	新人戦県団体ベスト8 新人戦県個人シングルスベスト16	各種大会での成績 チームの状況	○新人戦県団体ベスト16 ○新人戦県個人ダブルス出場	○新人戦で昨年度の実績には届かなかったが、生徒はよく努力し、結果を残せた。 ○自分たちで練習メニューを作成し、意欲を持って自主的な活動ができるようになった。 大会成績は振るわなかったが、まじめに練習に取り組んでいる	80 %
7	男子ソフトテニス	○総体・新人戦において団体・個人のどちらも県大会に出場する。また、選手権での活躍、協働できるチーム(個人)としての成長を目指す。	総体中部地区大会4位県大会出場 新人戦中部地区大会7位県大会出場。個人も2ペアが県大会出場。	各種大会での成績 協働できるチーム(個人)の成長の状況	○静岡県高校総体代替大会1回戦		50 %
8	女子ソフトテニス	○総体・新人戦(団体戦・個人戦共に)県大会出場 ○コミュニケーション力の向上 ○協働できる人間性の育成	県総体団体戦県大会出場	各種大会での成績 チームや個人の成長の状況	○静岡県高校総体代替大会1回戦 ○新人戦中部大会団体戦8位 ○静岡県新人戦個人戦1ペア出場	○新人戦個人戦で県大会出場できた。○前衛後衛共に基本的な技術が向上した。実践練習によって試合での攻め方・守り方が上達した。	75 %
9	ハンドボール	○県大会で上位入賞 ○心技体の向上	静岡県高校総体出場 静岡県新人戦3位 静岡県1年生大会決勝トーナメント進出(ベスト10)	各種大会での成績 個人・チームの心技体の向上の状況	○高校総体中止 ○県選手権ベスト8 ○新人戦県ベスト4進出(順位決定戦中止) ○県1年生大会ベスト8	○新人戦でベスト4に進出することができ、目標達成に近づくことができた。 ○毎日の練習に部員が休まずに参加し、チームとしても個人としても成長することができた。	90 %
10	サッカー	○総体、新人戦県ベスト16 ○リーグ戦中部1部リーグ残留 ○選手権大会ベスト16	総体中部大会敗退 新人戦県大会出場 中部1部リーグ13位 選手権4回戦進出(ベスト28)	大会の成績	○新人戦県1回戦 ○リーグ戦中部1部リーグ残留 ○選手権大会2回戦	○実施した選手権、新人戦ともに目標は達成できなかった。 ○リーグ戦については昇格がなかったため残留したが、順位は最下位だった。	30 %
11	野球	○選手権大会ベスト16 ○春季・秋季大会県大会出場 ○チーム力の向上 ○礼儀正しい生徒の育成	春季大会地区予選敗退 選手権大会、3回戦進出 秋季大会地区予選敗退	選手権、春季・秋季大会の結果 チームや生徒の状況	○夏季静岡県高校野球大会1回戦敗退 ○秋季東海地区高等学校野球静岡県中部地区大会2回戦敗退	○大会での目標は達成できなかったが、日常においての生徒の行動、勉強時間の確保、目的である「文武両道」については昨年と同様に達成できたと思われる。	75 %
12	ラグビー	○部員の主体性と行動力の伸展	県大会予選リーグ突破決勝トーナメントに進出する。(新人戦および総体)	静岡県選抜候補選手を輩出できるかどうか	○全国高校ラグビー静岡県大会に沼津工業、清水南との合同チームで出場。東海大静岡翔洋高校と対戦1回戦敗退	○合同チームでの出場になったが、限られた練習時間の中で、チームワークを高めようと積極的に練習に取り組み、試合に出場することができた。	80 %
13	卓球	○団体戦で東海大会出場 ○生徒の人間的な成長	インターハイ団体 男子県ベスト16 女子県ベスト8 新人戦団体 男子県出場女子7位 東海選手権出場10人	大会の結果 チームや生徒の状況	○新人戦団体 女子中部地区4、県16 インターハイ、東海選手権予選等は実施されず	○団体戦で東海大会出場という目標は達成できず、昨年度よりも実績は下がってしまった。 ○コロナ禍で大会や遠征ができない中でも工夫して練習を重ね、活動当初と比較して人間的に成長することができた。	65 %
14	水泳	○総体県大会出場 ○チーム力の向上	総体県出場(リレー5種目・個人22種目)	総体等の大会結果 生徒、チームの状況	○静岡県高校新人中部地区大会 女子個人メドレー3位 女子200m個人メドレー3位 女子50m自由形9位 女子100m平泳ぎ10位 男子100m平泳ぎ5位、8位 男子200m平泳ぎ4位、8位 男子200m個人メドレー6位 上記の種目において、県大会出場	○個人で自分の泳ぎをビデオなどで振り返ったり、練習メニューを工夫したりするなど、それぞれが大会ごとに自己の省察を行うことができた。夏に向けて冬の練習をどのように充実したものにしていくのかといった部分が今後の課題である。	80 %
15	陸上	○全国大会への出場 ○5件以上の東海大会への出場 ○80%以上の部員の県大会への出場 ○全員の記録の成長 ○90%の部員が活動に満足する	全国大会2件 総体女子三段跳8位 東海大会出場9件 80%の部員の県大会出場 中部高校総体男子総合4位、女子総合3位 中部高校新人男子総合3位、女子総合2位	総体、選手権、新人選、駅伝の成績 個人の記録の伸びの分析 年度末に活動満足度アンケート	○総体代替大会にて県大会進出19件 女子5000m競歩は県2位、全国リポート47位。 ○中部高校新人男子総合3位、女子総合2位 県大会進出24件 ○県高校駅伝男子33位、女子19位、いずれも単独で出場。 ○92%の部員の県大会出場 ○東海大会出場権獲得は3件	○全国総体まで目指していた3年生もいたが、大会が中止になり、多くが活動をあきらめてしまった。その中でも最後まで競技を続けた者が、目標を達成することができた。 ○12年生も中部新人では目標を達成できたが、東海大会進出件数は少ないので、更にレベルアップをしたい。	90 %
16	柔道	○総体・新人戦(選手権)の県大会出場を目指すとともに、仲間と協力して「心・技・体」の養成に努める	総体中部地区大会地区大会敗退 新人戦中部女子個人県大会出場 男子地区大会敗退	各種大会の成績 生徒の心・技・体・心の向上 チームワークの状況	活動なし	活動無し	— %

令和2年度 部活動ガイドライン 部活動評価

17	運 剣道	○総体・新人戦の県大会出場や選手権での活躍 ○協働できるチームとしての成長 ○主体性をもち、人に感謝できる人間になる。 ○これから社会に出る人間として当たり前のことを当たり前にやる。	地区総体男子団体3位 県大会出場 地区総体女子団体4位 県大会出場 地区総体男子個人2位6位 県大会出場 地区総体女子個人16位 県大会出場 地区新人戦男子団体4位 県大会出場 地区新人戦女子団体5位 県大会出場 地区新人戦男子個人1位5位11位 県大会出場 地区新人戦女子個人9位10位 県大会出場	総体等の成績 生徒の技能向上とチームワークの状況など大会の成績 生徒の技能向上	○新人戦中部予選男子団体第6位 ○新人戦中部予選女子団体第5位 以上県大会出場 ○新人戦中部予選男子個人第3位	総体が中止になったことで、昨年度よりも実績の数としては減少してしまった。 部活動が思うようにできない中でも、着実に力をつけることができた。 新人戦の結果も最低限は達成できた。県大会は3月下旬に行われる。	70	%
18	運 弓道	○県大会上位入賞→東海・全国出場を目指す ○弓道審査会で弐段(2年)初段(1年取得を目指す) ○弓道と勉強との両立し、学力を伸ばす。	東海総体女子個人優勝 その他、県大会団体個人ともに多数出場 弓道弐段(2年)・初段(1年)の取得	○大会結果 ○審査結果 ○テスト成績・評定平均	○スポーツフェスティバル中部地域大会 男子団体6位 ○中部地区新人弓道大会 男子団体6位、女子個人1位 ○静岡岡県新人弓道大会 男子団体戦・男女個人戦出場 ○弐段取得 2名、初段取得13名	○新人戦での県大会出場など一定の成果は達成できた。○昇段審査が通常の形式で実施されず目標とした段位取得状況には至らなかった。 ○補助役員として大会運営に携わることで社会性を磨くことができた。 ○大会や練習試合が制限される中で、来年度に向けた射法・射技の習得を目指した稽古ができた。 ○今後とも弓道を通じて人間的成長と学習との両立を目指していく。	60	%
19	運 登山	○安全登山を第一とし、山に対する畏敬の念を育てる。 ○山で鍛え、山に学び、山を楽しむ。	夏山合宿4泊5日の達成 月1回以上の月例登山 スノーキャンプの実施	各山行の記録、反省を次の山行に生かし、どれだけチーム力を向上できたか	○高校総体中止 ○夏合宿中止 ○山行 日帰り4回 1泊2日3回 秋山合宿(2泊3日)1回	○新型コロナウイルス感染症対応により、1年で一審大きな山行である夏合宿は中止となったが、8月から山行を開始し、できる活動を精力的に行うことができた。 ○久々に女子部員の入部があり、男女ともに協力して練習や山行に取り組むことができた。 ○GoogleFormを用いて山行の反省をし、1人1人課題に向き合うことができた。	85	%
20	運 応援団リーダー	○各種イベント及び学校行事における生徒の活躍 ○自ら課題を設定し、目標に向けて主体的に取り組む	技術向上を目指し部としてまとまってきた よく努力した	各種イベント及び学校行事における生徒の取り組み 練習計画作成や生徒自身の振り返りノートの活用	○動画、音声による各種イベント及び学校行事への参加	○自主的に活動に取り組んだ。	50	%
21	運 新体操	○総体・新人戦県大会出場 ○団体・個人の得点の向上 ○礼儀の徹底、人間力を高める ○根気強く努力する力、主体性を身に付ける ○文武両道	静岡県高校総体県大会 団体7位入賞 静岡県高校新人大会 中部地区大会 個人2名出場	試合の成績 練習での取り組み姿勢 練習計画作成や生徒自身の振り返りノートの活用	○新人戦中部大会 団体3位 ○新人戦県大会 団体5位	○チーム作りや作品づくりのすべてが1からのスタートであったが試合で堂々と踊るまでに成長した。 ○自主的に練習に取り組む、練習を主体的に進める姿勢が身についている。 ○日常生活における礼儀や整理整頓など人間力の育成につなげることができた。	85	%
22	文 新聞	○年3回の新聞発行 ○新聞社主催の新聞大会への参加 ○新聞レイアウト(作成技術)などの向上	年3回の新聞発行と年末号の発行 静岡新聞社主催の大会へ参加	新聞の発行 大会への参加	○東高新聞179号、180号発行	○新型コロナウイルス感染症対応による休校のため大幅に遅れたが、3年生最後の活動となる179号の発行を1学期中におこなうことができた。	70	%
23	文 科学	○科学的なテーマを各自決め、年間を通じ研究、製作活動を行う。	全国高等学校ARDF競技大会出場 静岡県高等学校無線コンテスト参加	研究結果及び生徒の活動状況	○静岡県高等学校ARDF競技秋季県大会M19の部個人6位(全国大会出場権獲得)、W19の部個人優勝(全国大会出場権獲得)、団体3位	○春の無線コンテスト、夏の県大会、全国大会は行われなかった。 ○生徒理科研究発表会への参加はできなかった。	50	%
24	文 放送	○NHK県大会出場、新人戦コンクール入賞 ○学校行事、吹奏楽等の放送業務を滞りなく行ない協力する	NHK杯中部地区大会出場。朗読で1名人賞、県大会出場 行事・演奏会の放送業務は責任を持って行った	NHK杯、新人大会の結果 行事・演奏会の状況	○静岡県高等学校放送新人コンクールに団体の部と個人の部で出場 ○吹奏楽部の定期演奏会の司会、体育大会等の学校行事の司会	○活動の骨子であるNHK杯への出場がコロナの影響で中止になり残念であった。 ○数少ない学校行事であったが、部員全員で運営、司会を務めることができた。	80	%
25	文 吹奏楽	○各大会での県大会出場 ○定期演奏会、ウィンターコンサートの開催 ○福祉施設への訪問 ○一つの音楽を作り上げることによって協調性や努力する姿勢を育む	吹奏楽コンクール県大会出場 アンサンブルコンテスト県大会2チーム出場(金賞1、銀賞1) 個人重奏コンテスト個人の部県金賞1人(本大会出場権獲得)重奏の部金賞1、銀賞2	大会の結果 コンサートでの完成度や達成感及び観客動員数や観客の反応 生徒の技術向上や充実感など	○吹奏楽コンクールは中止 ○吹奏楽祭は優秀賞(県8位) ○アンサンブルコンテストは県大会へ2チーム進出(県大会で銀賞2) ○個人重奏コンテスト静岡県大会出場 重奏の部 金管8重奏金賞 木管3重奏銀賞 個人の部 フルート松下金賞 ユーフォ南雲銅賞 ○定期演奏会はできなかったが中庭で行った演奏会でマスコミに大きく取り上げられた。 ○ウィンターコンサートは7校で行い、大成功であった。 ○福祉施設への訪問演奏は自粛した。	○コンクールはなかったが、吹奏楽祭へ向けての取り組みで同等の取り組みができたと感じる。 ○アンサンブルコンテストは昨年に近い成績を頂くことができた。 ○中日個人重奏は本大会への出場はできなかったが、それぞれが目標以上の成績をあげられた。 ○定期演奏会できなかったが、その後の取り組みがマスコミに取り上げられ、3年生にとっては思い出に残るイベントができた。 ○例年より本番が少なかった分、技術の向上や部員間の協調性、1回1回のコンサートの完成度を高める取り組みは例年以上に培われたように感じる。	95	%
26	文 マンドリン	○全国大会での優秀賞受賞 ○各人が演奏技術の向上に努め、演奏会等の成功のため協力して活動する	○中学校高等学校ギター・マンドリン音楽祭 金賞 ○全国高総文祭 文化連盟賞 ○静岡県高文連器楽管弦楽専門部発表会3位 優秀賞 ○東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバル4位 優秀賞・静岡県教育委員会賞 ○定期演奏会・東陵祭・ボランティア演奏・合同コンサートに協働して取り組む事ができた	大会の結果 生徒の活動状況	○全国大会は中止 ○静岡県高文連器楽管弦楽専門部発表会2位 優秀賞 ○東海選抜高等学校ギター・マンドリンフェスティバル 優秀賞	○コロナ禍により全国大会や定期演奏会などが中止になり活動の機会が減ったが、日々の活動には協働して真剣に取り組んだ。 ○市立図書館や生涯学習センターからの要請によりミニコンサートを行い、地域貢献ができた。 ○県大会で優秀賞となり、東海大会や全国大会への出場権につなぐことができた。	95	%
27	文 美術	○一人4作品以上の制作	東陵祭展示、中部展出品3作品中入選1作品	東陵祭、中部展への出品、展示	東陵祭中止 中部展出品8点中特選1点入選6点	○中部展での入選率が上がり、1点は特選に選ばれた。 ○継続的にデッサンに取り組み、一人一人の画力が向上した。	90	%
28	文 演劇	○年3回の主な合同公演において、観客の満足度70%以上を目指す。	六月公演・秋季公演・如月公演において、目標とする満足度を達成することができた。	公演後に集める「批評カード」(アンケート)による。	コロナ禍の影響で、観客を限定して実施した秋季公演以外の合同公演は中止となった。	活動が制限されるなか、一人芝居やZoomを活用した映像作品を制作して部活動公開日に上映したり、独自の脚本づくりに取り組んだりした。	70	%
29	文 写真	○コンクールへの出品 ○学校行事や他の部活動の記録活動での活躍	コンクール出品	コンクールの結果 生徒の技能向上など	コロナ禍の影響で、審査員を招いてのコンクールが参加人数を限定して1度しか行われなかったが、3名人賞でできた。	コンクールは減ってしまったが、3名人賞することができた。 校内での活動は熱心に行い、他の部活動の様子などを撮影したものを校内に展示した。	75	%

令和2年度 部活動ガイドライン 部活動評価

30	文	煎華道	○日々の稽古に取り組み、学年ごとに習得すべきお点前を身に着けながら、日本の文化やもてなしの心を理解する。	東陵祭での茶席と生け花展示 高校生生け花デモンストレーション参加 茶会出席	準備や片づけを含めた日々の稽古の状況	コロナ禍にあり、文化祭をはじめとする行事が全て中止になってしまった。	行事は皆無であったが、部員全員が熱心に稽古に励んだ。	70	%
31	文	棋道	○高校選手権・竜王戦。新人戦に全員参加する ○各大会で一試合でも多く勝てるように部員同士で戦法研究を深めることができるようにする。	高校新人戦県大会(個人戦)優勝となり、全国大会出場。 竜王戦決勝トーナメント出場6名。	高校選手権・竜王戦・新人戦の成績 駒落ち指導対局による勝率。 部活動の出席状況。	新人戦 全国大会 女子個人 出場資格獲得 新人戦 県大会 女子個人 準優勝 新人戦 県大会 女子団体 準優勝 新人戦 県大会 男子個人・男子団体 出場	コロナ禍で、選手権大会・竜王戦が中止。新人戦全国大会も中止。他校との練習試合も制限される中、ITを駆使した練習が役立った。今年度は、女子の活躍が目立った。	95	%
32	文	語学	○アカデミックディベート大会・バーメンタリーディベート大会出場 ○英検2級以上の取得 ○グローバルな視野で物事を考え、人として成長すること	○アカデミックディベート大会・バーメンタリーディベート大会出場 ○スピーチコンテスト参加 ○英検2級の取得 ○個人の成長	○対外的な大会への出場 ○生徒の英語力の向上と取り組み状況	○全英連主催 全国高校生英作文コンテスト応募 ○朝日新聞社主催 SDGs169ターゲットアイコン日本語版製作プロジェクト応募	○外部の大会への参加はできなかった。 ○スライドを利用した世界の食に関するプレゼンテーションの作成、 来年度に向けての学校説明英語版の作成をした。	70	%
33	文	ホームメイキング	○グループ又は個人でテーマを設定し、調理や裁縫等の技術向上をめざす。 ○コンテスト等への挑戦	東陵祭展示 高校生による和の給食コンテスト応募 審査員奨励賞1名 2019 アースカレッジ 参加	生徒の技術向上と取り組み状況 コンテストへの積極的参加状況	東陵祭中止 アースカレッジ中止 高校生和の給食コンテスト審査員奨励賞2名	○コンテストは、毎年応募者が増える中で、奨励賞が取れたのは頑張ったと思う。 ○土曜日の部活公開の日はそれなりに工夫して、取り組めた。	70	%
34	文	百人一首	○高校選手権、高文祭、かるたグランプリの少なくとも一つで 全国大会出場 ○SKリーグに全員が参加し、出来るだけ上位クラスを目指す ○練習への継続的な参加を行う	高校選手権県予選2位、全国ベスト16 全国高文祭1名出場 県選手権2位、東海大会2位	大会の結果 生徒の練習や大会への取り組み	県選手権 I 部6位・8位 新人大大会 I 部7位・9位・10位 初心者大会 D級優勝・3位 E級3位 SK(静岡かるた)リーグ Aリーグ 全32人中 本校4人在籍	県内高校生のみで実施されるSKリーグ以外は、コロナ禍のなかで開催されなかったため、目標とするものが見えづらい中での活動であったが、少しでも技量を向上することができるよう努力する姿勢が見られた。また、上級生は下級生の指導を積極的に行い、多人数の部活動ながらチームとしての意識を持つことができた。	70	%
35	文	書道	○静岡市書道展 特選以上 ○中部地区新春書作展 優秀奨励賞以上 ○静岡県高等学校総合文化祭書道部門参加 ○書道パフォーマンス 参加	静岡市書道展特選 3点 中部地区新春書作展 中部書道専門部会長賞 静岡県高等学校総合文化祭書道部門 特選	各展の審査結果	中部地区書作展 高文連書道専門部会長賞 書道パフォーマンスアワード2020 7位	日々の練習に真剣に取り組む、一人一人の技術力、表現力が向上した。 書道パフォーマンスでは、協力して作品を作り上げることができた。	90	%